



[かいらハウス\(藤枝市\)を吉田町から視察に](#)

昨年、ふじのくに壮年熟期活躍プロジェクトの一環として、菊川市、藤枝市、焼津市、吉田町で社会参加フェアが開催されました。

4市町ではフェア終了後、地域デビューセミナーやNPO体験会などを開催し、ボランティア活動に興味がある方に第一歩を踏み出すための支援をしています。

今回吉田町で「居場所」に興味を持つ60歳以上の方を対象に、『アクティブシニア活躍プロジェクト 福祉のまちづくりボランティア講座』として、地域で活躍する居場所を見学しようという体験ツアーが行われることになり、平成31年1月28日、20名余りが藤枝市にある「かいらハウス」と静岡市の「くれば」を視察に訪れました。

先に訪問した藤枝市「かいらハウス」での様子をご報告します。



[かいらハウス\(藤枝市\)を吉田町から視察に](#)

【代表の今野さん(右)と古蔵さん】

「かいらハウス」は藤枝駅から歩いてすぐの便利な場所にあります。代表の今野さんは元々障害者施設で永く仕事をされていましたが、退職を機に“生きづらさを抱えた人や孤立しがちな人など誰もが集える共生の場を作りたい”と、県内あちこちの居場所を半年かけて見学し、同僚だった古蔵さんも協力者に加わって平成27年10月に「くつろぎカフェ かいらハウス」としてスタートしました。



[かいらハウス](#)



[かいらハウス\(藤枝市\)を吉田町から視察に](#)

室内は今野さんの好きな陶芸皿やグリーンなどが飾られた素敵な空間です。皆さんをおもてなししようと、珈琲の仕事を専門にしていたボランティアさんが早くから美味しい珈琲の準備をして待っててくださいました。



[かいらハウス\(藤枝市\)を吉田町から視察に](#)

[かいらハウス\(藤枝市\)を吉田町から視察に](#)

珈琲を頂きながら、まず今野さんから開所にあたっての想いやこれまでの取り組みなどが、お話とビデオで紹介されました。

開所式では市長さん始め多くの皆さんから期待が寄せられ、マスコミにも報じられました。地元自治会などへのPRもしたのですが、スタートしてみると誰も来ない…。くればを運営していた原田さんに相談すると、「何らかのしかけが必要」とのアドバイスを受け、おにぎりランチを始めます。

初めての訪問者は脳梗塞の障害のある方でしたが、対応に戸惑ったボランティアさんが皆やめてしまいます。でも障害者に関わってきた今野さんと古蔵さんにとっては特別なことではなく、常に前向き。こうだったらいのに！と思うことを次々形にして行きます。

職のない若者やお年寄りの就労支援として、地元企業と協働で内職作業を行う「交流ワーク」の活動や、楽しく手先を動かして脳の活性化も促すちぎり絵や歌声喫茶など、「なごみの場」としての活動。「くつろぎカフェ」も毎日バランスのとれた美味しい日替わりランチ(500円)や飲み物を提供し、心を癒す音楽とおしゃべりの場として定着してきました。

『居場所』は、地域の誰もが気楽に立ち寄り、顔見知りが出て自分らしさを発揮でき、喜びを得られるところ。この活動を通し、独りぼっちで居る孤立を無くし、皆で支え合う共生社会を実現させたい…。「私は場所を提供してるだけ。アクティブシニアの方が、自分の力を発揮したいという思いで集まっていることで成り立っているんですよ」とざっくばらんに話す今野さんの言葉一つ一つが温かく、輝きを持って私たちの心に響いてきました。



[かいらハウス\(藤枝市\)を吉田町から視察に](#)

[かいらハウス\(藤枝市\)を吉田町から視察に](#)

限られた時間の中でお話を聞いた後、ランチの試食がありました。人数が多いので、普段は人と一緒に食事をするのが苦手な人やマッサージなどの為に使う2階を開放して下さり、いつもはワンプレートで提供するものを特別にお弁当の形にして、心のこもった美味しい豚汁やデザートも付いた豪華なランチにして下さいました。

毎日夜まで片付けや翌日の準備をしていると伺い、頭の下がる思いで頂きました。

食事の後は質問タイムが設けられ、お金のやり繰りについての質問がありました。

かいらハウスは法人格を取っていませんが、それは“法人として活動する上での様々な規則や制約に縛られずに地域の隙間の課題に迅速に対処したい”との思いで任意団体としての活動を選択しているからで、形はそれぞれに合うようやるのが良いのでは、とアドバイスされていました。



[かいらハウス\(藤枝市\)を吉田町から視察に](#)

[かいらハウス\(藤枝市\)を吉田町から視察に](#)

実家であるこの家に残されていた機織り機を使える方が偶然見付き、月曜日は機織り講座を開いたり、脊椎をメンテナンスする器具でのリフレッシュ体験など、基本500円の講座収入や、ボランティアさん手作りの物を販売して得られる収入なども自主財源を確保する手段となっています。



[かいらハウス\(藤枝市\)を吉田町から視察に](#)

【珈琲を振舞って下さったボランティアさん手作りのシュガーレースも驚くほど安く販売されていた】

皆さんには、かいらハウスの居心地の良さをたっぷり味わいながら視察していただけたと思います。お手本にしたくなる活動をたくさん見学し、自分たちのより良い居場所を作って各地域に自慢の居場所ができたらいですね。

今野さん始めかいらハウスの皆様、ありがとうございました。

「かいらハウス」 藤枝市前島2-2-5 ☎ 054-689-1118
居場所利用日 月火水木金 10:30~16:30 (不定休あり)

志太榛北地区担当特派員 増田昌江